



提言「**福島第一地域 クリーンアッププロジェクト（仮称）**」の早期立ち上げ
International Project “Clean-Up Fukushima”

3月11日の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故により周辺の住民が避難、屋内退避等の多大な迷惑を受けたことを日本原子力学会としても極めて深く受けとめています。原子力発電所の冷温停止に至る道筋を早急につけるとともに、環境への放射性物質の放出をなくすという事故の収束に向けての努力を最大限とる必要があることはいうまでもありません。同時にサイト周辺の環境回復や廃炉についての検討、すなわち多くの課題を解決してきれいな福島浜通りを復活させるという、福島第一原発およびその周辺をクリーンにする国を挙げてのプロジェクトを早急に立ち上げ、俯瞰的かつタイムリーに検討・実施する必要があると考えます。

このプロジェクトにおいては、第一に国の主導により関係省庁ならびに民間、研究開発機関等が一丸となって対応する必要があることはいうまでもありませんが、同時に、外国との連携も積極的に考えて国際プロジェクトとして取組む必要があります。そこでは、燃料処理、放射性廃棄物や放射性物質により汚染した物の処理、環境修復、地域住民の期待に真に応えられるような生活復活などが検討項目となるでしょう。

原子力に関係する多分野の専門家をメンバーとする日本原子力学会としても、傘下の会員を含め、このプロジェクトに最大限の貢献をしたいと思います。